

Ⅹ. 工事費の概算

Ⅹ-1. 施設整備費の検討

1. 事例調査

- ・ 建物整備費については、過去10年間に渡る、主に西日本における規模の似通った10事例の調査を行い、工事費単価を明らかにする。

表-Ⅹ-① 事例にみる建物整備費(但し契約金額)

事例	整備時期 (年)	延べ面積 (㎡)	①建築工事費 (千円)	②電気・機械設 備工事(千円)	工事費合計 ①+②(千円)	工事費単価 ①+②/延べ面積 (千円)/㎡
A	H16	3,000	—	—	1,385,884	462
B	H17	2,378	511,490	280,224	791,714	333
C	H17	2,265	682,500	207,806	890,306	393
D	H17	3,867	948,675	567,735	1,516,410	392
E	H20	2,395	672,000	273,241	945,241	395
F	H21	3,853	890,400	353,640	1,244,040	323
G	H22	2,478	793,506	309,665	1,103,171	445
H	H22	4,751	1,268,757	452,859	1,721,616	362
I	H23	7,297	—	—	2,515,000	345
J	H24	3,370	1,139,942	339,376	1,479,318	439

2. 計画目標額

①建物整備費

- ・ 工事費単価は、390(千円)/㎡と設定する。
- ・ 但し、今後の地質調査等により、大きなコスト増が見込まれる場合は見直しが必要である。

$$\text{① 建物整備費： 約}3,000\text{㎡(目標規模)} \times 390\text{(千円)/㎡} = \text{約}1,170,000\text{(千円)}$$

②火葬炉設備費

- ・ 本計画では1基当たりの整備費を約46,000(千円)/基程度とする。
- ・ 火葬炉設備は、6基(人体炉5基+動物炉1基)を整備し、1基分の増設スペースを設置する。

$$\text{②火葬炉整備費： 約}46,000\text{(千円)} \times 6\text{基} = \text{約}276,000\text{(千円)}$$

③施設整備費

$$\text{③施設整備費}=\text{①}+\text{②}:\text{約}1,170,000\text{(千円)}+\text{約}276,000\text{(千円)}=\text{約}1,446,000\text{(千円)}$$

Ⅹ-2. 造成工事費の検討

1. 概算の条件

- ・ 掘削土量は、周囲の斜面地に盛土することを想定し、場外搬出を見込んでいない。
- ・ 雨水調整池の整備費等は見込んでいない。

2. 概算結果

$$\text{造成工事費： 約}130,000\text{(千円)}$$

区-3. 水道敷設費の検討

1. 概算の条件

- ・ 貯水池から、敷設延長:2.0km、高低差:約100mを見込む。管径はφ75mmとする。
- ・ 中継ポンプ施設を一箇所整備する。

2. 概算結果

水道敷設費 :	約100,000(千円)
---------	--------------

表-区-② 概算工事費

①インフラ整備費(水道)	約100,000(千円)
②造成費	約130,000(千円)
③施設整備費	約1,446,000(千円)
合計	約1,676,000(千円)

- ・ なお工事費については、当初に予算額を約1,630,000(千円)で見込んでいるため、この価格内に収まるように各整備費は今後、縮小に向けて見直しを図るものとする。